

# 製品ガイド(応用編) 目次

1. **AmiVoice® SP2** の最新版について 2ページ  
「標準(大)汎用音響モデル」という辞書をご利用ください。
  
2. 認識率のコツについて 2ページ
  - (1)発音は自然に！
  - (2)単語よりも文章で！
  - (3)口元とマイクの距離が5cm 以内
  - (4)固有名詞、専門用語はあらかじめ単語登録
  
3. 使うほどに認識精度が向上する学習機能について 3ページ  
音響学習のポイント
  - (1)本人の声だけを入力すること。
  - (2)他の人の声が混ざると、認識精度が落ちる可能性があります。
  - (3)複数ユーザーで使用する場合は各ユーザーごとに登録。
  
4. テキスト学習機能で認識率を向上について 4ページ  
テキスト学習ウィザードは、過去に自分が作成した文章を **AmiVoice® SP2** に学習させることにより認識精度を上げることを目的とした補助的なツールです。
  
5. 書起しエディターを効率的に使用方法について 7ページ  
書起しエディターは録音した音声ファイルを聞きながら文章を書起すためにツールです。  
付属のヘッドセットマイクなどで聞いた内容を復唱することで、効率よく書起しができます。

## 1. AmiVoice® SP2 の最新版について

無料アップデートモジュールにつきまして、以下よりダウンロードできます。

<http://sp.advanced-media.co.jp/download/index.html>

「標準(大)汎用音響モデル」という辞書が追加されますので、こちらをご利用ください。

AmiVoice バー上の「辞書切り替え」で選択することができます。

雑音環境で使用する場合や、タブレット PC などに内蔵されているマイクを使用する場合は、認識精度が高くなることが多いです。



## 2. 認識率のコツについて

### (1) 発音は自然に！

普段話しているように、自然に話してください。一語一語区切って発話したり、不自然にゆっくり発話すると、逆にうまく入力できません。また、抑揚をつけずにたんたんとお話しください。

### (2) 単語よりも文章で！

現在の音声認識は、前後の文脈で認識をしているので、単語ごとに区切るよりも、文章で話す方が認識されやすくなります。

### (3) 口元とマイクの距離が5cm 以内

口元とマイクの距離が5cm 以内で話してください。

### (4) 固有名詞、専門用語はあらかじめ単語登録

2～3回発話して認識しない場合、よく使うと思われる単語は単語登録、そうでない場合は、キーボード入力してください。

キー入力した単語、文書を学習するためには、テキスト学習を活用ください。

### ■ 認識率を高めるコツ まとめ

(1) 話し方(抑揚をつけずに棒読み、大きな声でなく、小さな声)

(2) 間違って認識した場合、候補学習(次候補から選択)

(3) 次候補に単語がない場合、よく使う単語は単語登録、使われないと思われるものはキーボード入力

(4) 2～3回発話して認識できない場合、(3)を実施(1箇所です時間を費やすとロスが発生します)

### 3. 使うほどに認識精度が向上する学習機能について

#### 「音響学習」

(1) ユーザーの発話を自動学習して、音声認識精度を向上させる音響学習機能です。

また、候補選択より修正したものを自動で学習する候補学習機能も搭載。使えば使うほど利便性が向上します。

(2) 音響学習は、ユーザーの音声の特徴を自動的に学習して、音声入力がしやすくなる機能です。

この機能を使い続けることで、だんだん正確に変換されるようになり、音声入力がよりスムーズに行えるようになります。


「ゲームで言う経験値がたまってレベルが上がる」という概念です。ゲームであれば、レベルが上がればより強いモンスターに勝てるようになりますが、**AmiVoice® SP2** では認識しにくい発話を認識できるようになります。

#### ■音響学習のポイント

(1) 本人の声だけを入力すること。

(2) 他の人の声が混ざると、認識精度が落ちる可能性があります。

(3) 複数ユーザーで使用する場合は各ユーザーごとに登録。



### 音響学習の正しい使い方

ほかの人の声が混ざると、認識精度が落ちる可能性があります。  
音響学習を使用する際は、必ずご自身のユーザーを作成して使用してください。  
ユーザーを作る → P.16


良い例


認識率UP ↗

1ユーザーに対し1人の声を学習

おはよう  
Aさんの声のみ学習

おはよう  
Bさんの声のみ学習

  
Aさん


  
Bさん


悪い例

認識率Down ↘

1ユーザーに対し複数人の声を学習

おはよう  
二人の声を学習

  
Aさん

  
Bさん

#### 4. テキスト学習機能で認識率を向上について

##### 「テキスト学習ウィザード」

##### (1) 未知語抽出機能

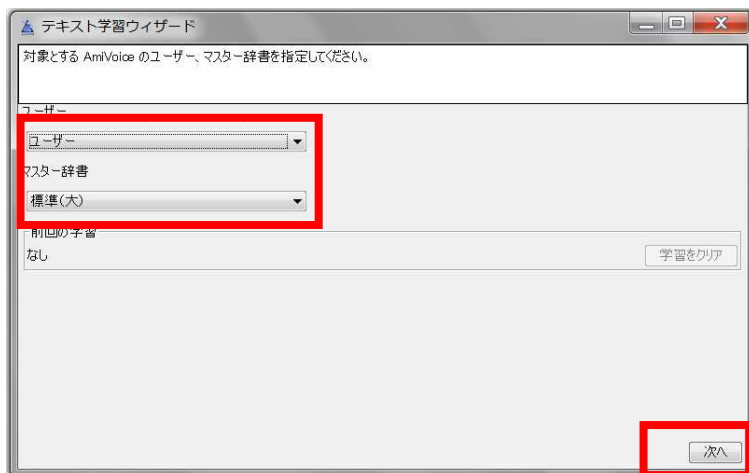
テキスト学習ウィザードは、過去に自分が作成した文章を **AmiVoice® SP2** に学習させることにより認識精度を上げることを目的とした補助的なツールです。

- ①過去に作成した文書ファイルから音声認識辞書に登録されていない単語を自動的に検出し、ユーザー辞書に登録する機能を搭載、使用頻度の高い単語登録を簡単にできます。
- ②過去の議事録や原稿などからユーザーの言い回し、文書スタイル(単語+前後の文脈情報)を学習できるから、使うほどに認識率を向上できます。

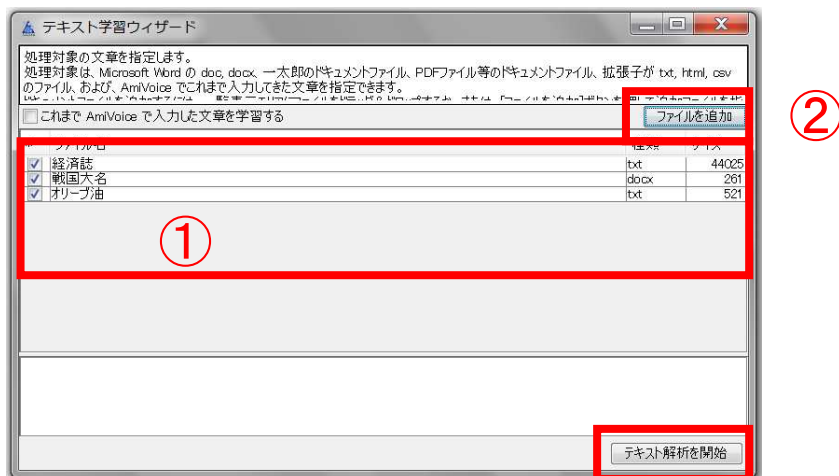
(2) AmiVoice バー上でマウスを右クリックしてメニューから、「テキストウィザード学習」を選択します。



(3) ユーザーとマスター辞書を選択して、次をクリックします。



(4) 文書ファイルを①の一覧表示部分にドラッグアンドドロップ、もしくは、②の「ファイルを追加」から文書ファイルを読み込んで下さい。



※対応ファイル: テキスト / MS Word / MS Excel / 一太郎 / PDF / CSV / HTML

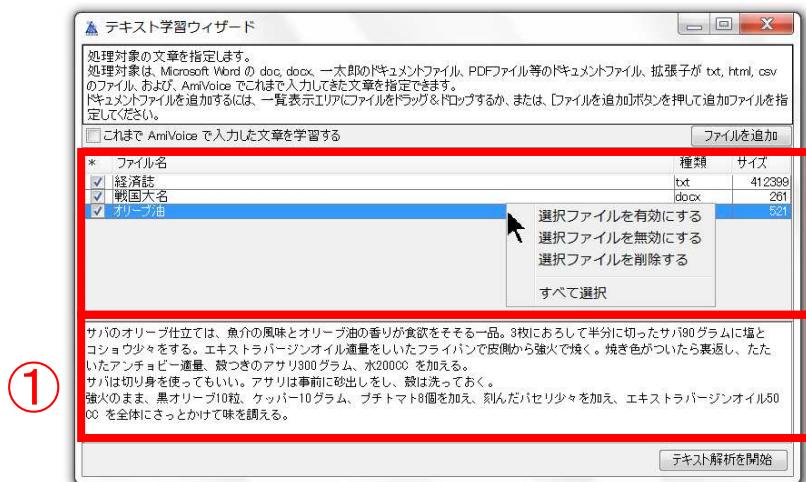
※上記ファイルを選ぶと、自動的にテキストデータに変換して取り込みます。

※テキスト容量はテキストデータで最大 5MB (5,000,000 バイト) までです。

(5) 選択した文書ファイルの内容の一部を確認したい場合、文章ファイルを選択すると、①のように確認することができます。

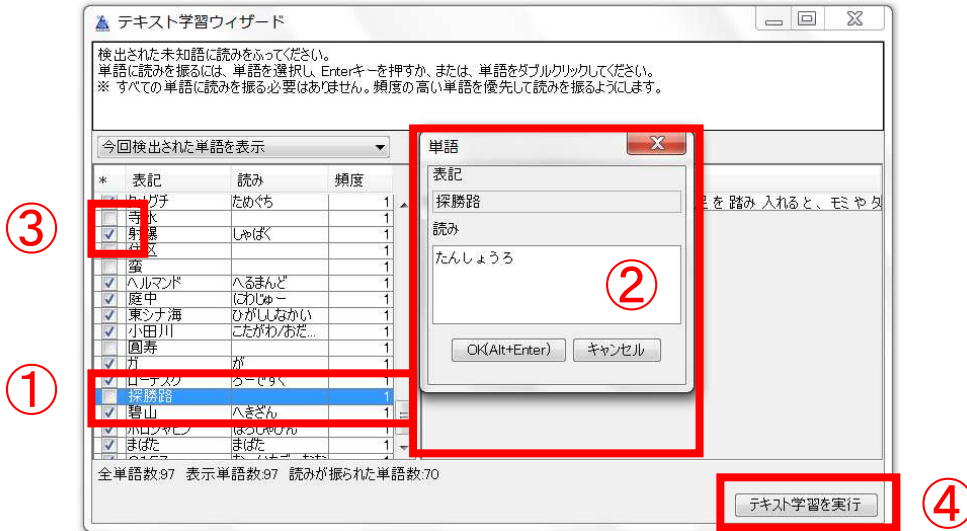
文書ファイルを追加したい場合、前回選んでいた文書ファイルは消さずに、再度、「ファイルを追加」から文書ファイルを読み込んで下さい。

選択した文書ファイルを削除する場合、削除したい文書ファイルを選択して、マウスを右クリックしてメニューから「選択したファイルを削除する」を選択してください。



(6) 検出した未知語に読みを「ひらがな」で入力ください。

- ① 単語に読みを入力するには、単語を選択し、Enter キーを押すか、または、単語をマウスでダブルクリックしてください。
  - ② 読みを「ひらがな」で入力ください。
  - ③ 学習させたくない単語は、チェックマークを外してください。
- ※すべての単語に読みを入力する必要はありません。頻度の高い単語を優先して読みを入力します。
- ④「テキスト学習を実行」を押すと、学習させることができます。

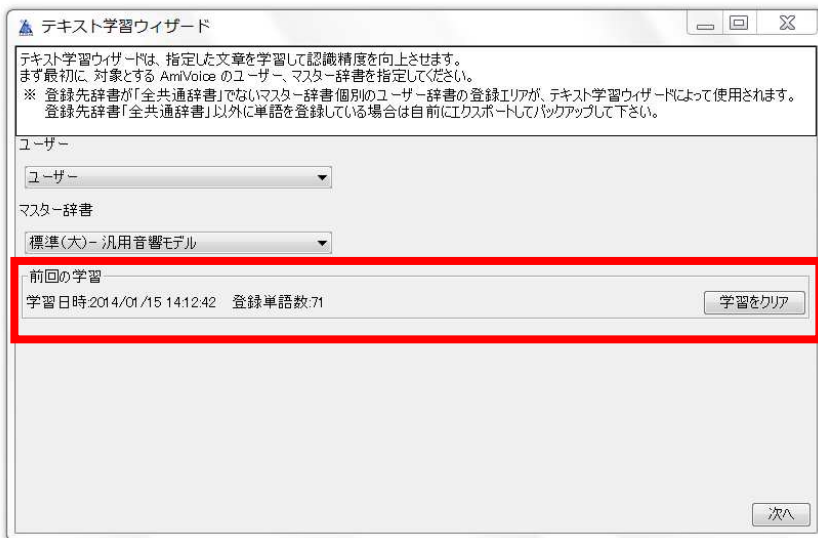


### ■ワンポイント

前回の「学習をクリア」すると、追加登録されている単語がすべて削除されますのでご注意ください。

必要に応じて、ユーザー辞書のエクスポートで追加された単語をバックアップしてください。

ユーザー辞書のエクスポートは、AmiVoice バーのユーザー辞書ツール → ユーザー辞書 → ユーザー辞書のエクスポートで行います。



## 5. 書起しエディターを効率的に使用方法について

### 「書起しエディター」

(1) 書起しエディターは録音した音声ファイルを聞きながら文章を書起すためにツールです。

会議やインタビューなど録音距離が遠い環境下で録音された音声ファイルは直接音声認識できませんが、付属のヘッドセットマイクなどで聞いた内容を復唱することで、効率よく書起しができます。

復唱で音声認識を使用する場合、**AmiVoice® SP2**の入力モードを直接入力に設定するとさらに使い勝手がよくなります。

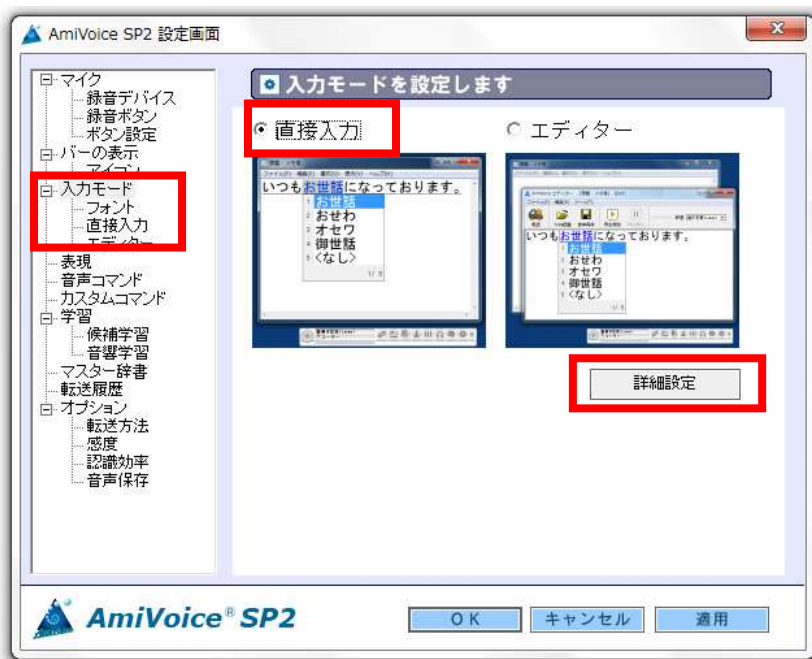
(2) **AmiVoice® SP2** の入力方法を直接入力に変更してご利用ください。

① 変更方法は、AmiVoice バーの設定をクリックします。



② 入力モードで直接入力にチェックマークを入れて OK ボタンをクリックください。

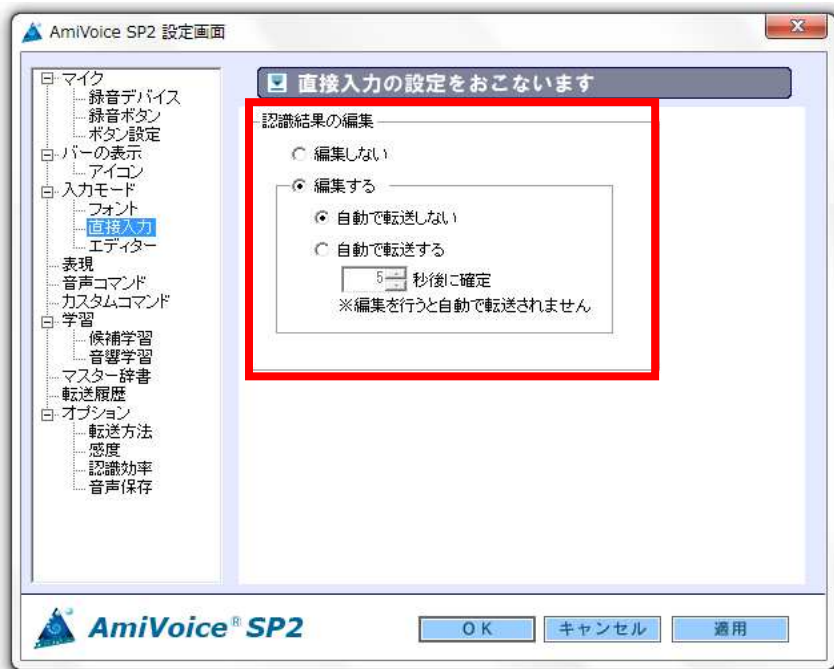
(出荷時は、入力モードが「エディター」になっています)



③詳細設定で認識結果の編集を行うことができます。

「編集しない」を選択すると発話後、認識結果がすぐにアプリケーションに入力されます。

「編集する」を選択すると、発話後、認識結果を候補選択で編集する状態になります。



## (2) 直接入力モードの使用方法

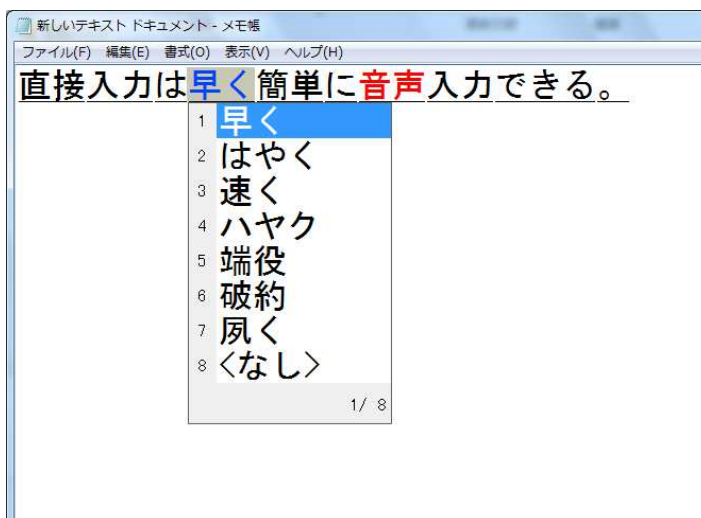
入力したい場所に直接音声入力します。候補の選択もできます。

①入力したい場所に直接入力します。

②間違った可能性がある文字は、赤く表示されます。

③カーソルを合わせて、【↓】キーを押すと入力結果の候補が表示されます。

※アプリケーションに転送するには、キーボードの Enter キーを押してください。または、認識した状態で、空白の時間を置き再度発話すると自動的に転送できます。

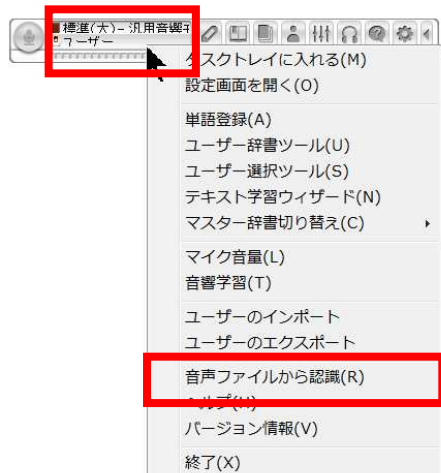




### (3) 書起しエディター上で復唱して音声認識を使用する場合

#### ① 書起しエディターを起動します。

AmiVoice バー上でマウスを右クリックしてメニューから「音声ファイルからの認識」を選択します。



② 書起しエディターが起動して、ファイル選択ダイアログが表示されますので、認識させたい音声ファイルを選択してください。または、メニューの「ファイル」→「音声ファイルを読み込む」で音声ファイルを選択することができます。

③ 書起しエディター上で、入力されたい箇所にカーソルをクリックします。

④ 書起しエディターで音声を再生/停止します。

※出荷時のキー割り振りは以下の通りです。

再生/停止    Ctrl キー + Space キー

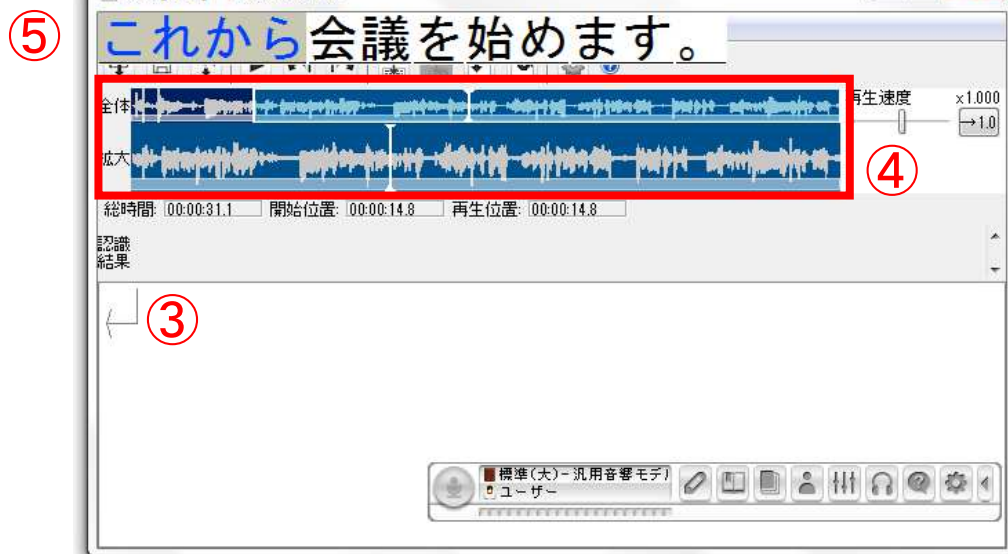
巻き戻し     Ctrl キー + ←キー

早送り       Ctrl キー + →キー

⑤ Shift キーを押してマイクをオンにして、直接入力で音声認識をすると、画面のように認識結果が表示されますので、認識結果を Enter キーで転送します。

認識結果を転送しない場合、書起しエディターで音声の再生ができませんのでご注意ください。

修正は、キーボードで行います。キー入力した単語、文章を学習するためには、テキスト学習を活用ください。



⑥作成した文章を保存します。

- ・保存方法は、ファイル → エクスポート → テキストファイルにエクスポートで、テキストデータに保存できますので、MS Word やメモ帳などで開くことができます。  
あるいは、使用されたいアプリケーションにコピー & ペーストしてください。
- ・途中で作業を中断したい場合、「ファイル」の「保存」で保存することができます。  
保存したファイルは、「ファイル」の「ドキュメントを開く」で開くことができます。

⑦各種機能をキーの組み合わせでショートカットキーに登録できます。



■ワンポイント

再生音の速度を調整した際に、再生音が聞きづらい場合、**AmiVoice® SP2** の無料アップデートモジュールで最新版にすると、新しい音声再生アルゴリズムがインストールされます。

確認方法は、編集→設定→音声再生→音声変更アルゴリズムで「シンプルアルゴリズム」を選択してください。

